

(工学研究科)

# 公益財団法人三菱UFJ信託奨学財団 2025年度年度奨学生の募集

2025. 4. 15

## 1. 応募資格・・・以下のすべてに該当すること

- 1) 2025年4月1日現在、博士前期課程1年又は後期課程1年に在籍する38歳以下の私費外国人留学生（在留資格「留学」在籍残期間1年以上）。
- 2) ASEAN加盟国出身の学生を優先。
- 3) 将来、民間企業・官公庁・学校等に勤務し、産業・文化面で活動し社会に貢献しようとする者、またはこれらの活動に関連する学術の研究を志す者
- 4) 採用後、三菱UFJ信託銀行（本店）の普通預金口座を開設できる者
- 5) 2025年4月以降、併給不可の他奨学金を受給しない者
- 6) 日本語でのコミュニケーションが可能な者

Japanese ability especially in reading and writing is preferable.

## 2. 支給額及び支給期間

月額115,000円、2025年4月から正規の最短修業年限まで

## 3. 提出書類（記入要領をよく読み、全てPCで作成）

- 1) 奨学生願書（所定様式、写真データ貼付）
- 2) 標準化GPA計算書（所定様式） ※ 直近のもので計算すること
- 3) 履歴書(1)(2)（所定様式）
- 4) 家計状況調書および応募理由書（所定様式）
- 5) 出願者の収支説明書（所定様式） ※2025年4月から1年間の収支見込みで記入すること
- 6) 研究テーマ（所定様式）
- 7) 在学証明書（原本） ※ 2025年4月1日以降発行のもの
- 8) 学業成績証明書 ※ 現課程（原本）及び前課程（コピー可）のもの
- 9) 経済状況調書 ※2025年4月1日現在
- 10) 民間奨学金申請の心得（所定用紙）
- 11) 私費外国人留学生身上調書（所定様式） 12) 家計状況申告書（所定様式）
- 13) 推薦書（任意様式） ※指導教員が作成 14) 在留カードの写し（両面）

※ (1)～(6) 様式は国際交流係にメールで請求: [eng-mon@grp.tohoku.ac.jp](mailto:eng-mon@grp.tohoku.ac.jp)

※ 11)、12) は2025年4月以降に提出済の場合は不要。

※ 13) は工学研究科から**推薦が決定した者のみ提出**する。

4. 推薦人数 工学研究科から1名

5. 申請書類の提出先 工学部・工学研究科教務課国際交流係（中央棟3階）

6. 締切日 2025年4月30日(水)

# 奨学生出願のしおり

(2025 年度)

公益財団法人 三菱UFJ信託奨学財団

The Mitsubishi UFJ Trust Scholarship Foundation

## (1) はじめに

公益財団法人三菱 UFJ 信託奨学財団は、三菱信託銀行\*の全額出捐により1953年(昭和28年)11月に設立されて以来、今日まで70年以上にわたりわが国の産業の発展ならびに社会文化の向上に寄与するために、国内外の指定大学を通じ奨学金事業を続けています。

本年度の奨学生を募集しますので、希望者は下記に従って出願手続きをしてください。

## (2) 出願の資格

次の各項全ての条件を満たす者でなければなりません。

- ① 財団主催行事への出席を優先できる者。  
なお、留学生は個別面談においては日本語でのコミュニケーションが可能であることが望ましい。(英語のみで授業を受けるコースであっても、日本語および日本文化への関心を持った人材を支援したいとの考えによるもの。)
- ② 当財団の指定する大学で、財団指定の学部、研究科に在籍している正規学生であること。(対象学部・研究科等の詳細は奨学金担当部署に問い合わせてください。)
- ③ 日本人：出願する年の4月1日現在、4年制大学第2学年以上、大学院修士課程または博士課程に在学し、大学生は原則として満23歳以下、大学院生は満33歳以下であること。  
留学生：出願する年の4月1日現在、4年制大学第2学年以上、大学院修士課程または博士課程に在学し、大学生は原則として満31歳以下、大学院生は満38歳以下であること。
- ④ 最短修業年限までの給費期間が1年以上見込まれる者。
- ⑤ 心身ともに健康で、学業成績、人物とも優れており、在学する学校長等の推薦する者。
- ⑥ 将来、民間企業・官公庁・学校等に勤務して、産業・文化面で活動し社会に貢献しようと志す者、またはこれらの活動に関連する学術の研究を志す者。
- ⑦ 学費の支弁が困難と認められる者。  
(日本人については、父母の税込年収合計1,000万円未満。留学生についての年収基準はありません。)

---

\*現在は三菱 UFJ 信託銀行と改称されています。

- ⑧ 採用後、三菱 UFJ 信託銀行（本店）に本人が普通預金口座を開設できる者。口座開設は日本語のみの対応のため、留学生で日本語での手続きを単独で進めることが難しい場合は、大学関係者の支援を必ず受けてください。

### (3) 出願および選考手続

#### 1. 出願方法

出願は、下記の書類を在学する学校を経由して、当財団に提出してください。奨学生選考に使われる重要な書類ですので、全ての項目につきもれなく正確に記載してください。①、⑦の書類は財団所定の用紙を使用してください。

#### 【提出書類一覧】

##### ① 奨学生願書

- ・ 奨学生願書 ※
- ・ 標準化GPA計算書
- ・ 履歴書(1)
- ・ 履歴書(2)
- ・ 家計状況調書及び応募理由書
- ・ 出願者の収支説明書
- ・ 研究テーマ(大学院生のみ)

※ 奨学生願書には、鮮明なデジタル画像（正面、背景なし、画像処理不可）を貼付してください。なければ現物の証明写真 1枚（縦4cm×横3cm 裏面に学校名、氏名を明記）を願書に貼付することで受付可とします。

在学学校長等の推薦が確定した後、出願者は奨学生願書一式 (Excelファイル) をメールにて各人より事務局あてに送信していただきます。

##### ② 所得証明書類（父母分、日本人学生のみ）

以下の表のA、Bいずれかの書類を提出してください。

A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2023年の収入に対する市区町村の所得証明書</li> <li style="text-align: center;">+</li> <li>・ 勤務先の発行する2024年の収入に対する源泉徴収票 または確定申告書の写し</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2024年の収入に対する市区町村の所得証明書</li> </ul>

なお、マイナンバーが記載されている場合は、黒塗りするなど判読できないようにしてください。

- ③ 在留カードの写しまたは外国人登録原票の写し（留学生のみ）
- ④ 在学学校長等の推薦書

⑤ 在学証明書

(上記④に出願者の氏名、生年月日、所属がすべて記載されている場合は不要。)

⑥ 学業成績証明書

⑦ 誓約書 (採用決定後)

2. 奨学生の採用決定

奨学生の採用は、各大学から提出を受けた出願書類に基づき、理事会から決定権限を委譲された財団の奨学事業選考委員会が決定します。

3. 選考結果の通知

選考結果は、学校を通じて出願者に通知します。奨学生として採用されましたら、速やかに三菱 UFJ 信託銀行 (本店) の口座開設等、所定の手続きをしていただきます。

#### (4) 奨学金の額と給費期間

1. 奨学金の額は次の通りです。

原則として返還は不要です。

大学生	月額	50,000 円
大学院生	月額	70,000 円
留学生大学生	月額	85,000 円
留学生大学院生	月額	115,000 円

2. 給費期間

奨学生として採用されたその年度の始期から、在学する学校の正規の最短修業年限の終期まで給費致します。

但し、大学院生の場合で、その課程が修士課程及び博士課程に分かれている場合には、最短修業年限は各課程の修業年限となります。

#### (5) 奨学金の給費

1. 奨学金の給費方法

奨学金は、三菱 UFJ 信託銀行 (本店) に開設した奨学生の普通預金口座へ、3ヶ月分をまとめて4月・7月・10月・1月の各15日に入金致します。(銀行休業日のときは翌営業日となります。)

なお、採用決定後の最初の給費は上記誓約書の提出を受けた後に、また、次年度以降各年度最初の給費は在籍校から全奨学生分の前年度の学業成績証明書等の提出を受けて財団が書類を確認した後に、それぞれ入金手続きを行いますので、必ずしも所定の日に入金されるとは限りません。

## 2. 併給と支給中止

他の奨学団体等から学資の給付又は貸与を併せて受けることができますが、併給を受ける場合は財団あてにその内容を届け出なければなりません。

また、次の場合には奨学金を廃止し、その事由等によっては支給済みの奨学金の返還を求めることがあります。

- ①奨学金を必要としない事由が生じたとき<sup>注)</sup>
- ②病気、事故などのため、卒業の見込みがなくなったとき
- ③学業、生活等に重大な支障が生じ、奨学生として適当でなくなったとき
- ④在学学校で処分を受け学籍を失ったとき、または退学したとき

<sup>注)</sup>博士課程で研究費として受けるもののうち給付額の多い日本学術振興会特別研究員、次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）等に関する併給の可否については、事前に大学経由でご相談ください。

## (6) 奨学生の義務

- ① 財団主催行事（年に一度実施する財団職員との個別面談や交流会等）への出席を優先してください。
- ② 奨学生・保証人の連絡先や保証人の変更、休学・留学、所属学部・研究科の変更等、届出事項や学業・生活状況に変更が生じた場合は、速やかに財団に届け出なければなりません。
- ③ 就職先・進学先などを事務局が照会した際は、お知らせください。
- ④ 卒業後も、住所・氏名・勤務先などに変更があったときは事務局にお知らせください。

※本紙を申請書類一式に添えて提出してください。

## －奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2024.07.01

### 1. 申請の前に

・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。

・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ず予め所属部局の奨学金担当係に確認してください。

### 2. 申請前チェックリスト

#### 手書き・電子共通

- 申請資格、採用後の義務(認定式、交流会、定期課題等)を確認したか。
- 申請書類がすべて揃っているか改めて確認したか。
- 併給不可の他の奨学金を受給又は申請していないか。
- 面接がある場合、必ず出席できるように予め交通費、場所、日時等を確認したか。
- 学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記載したか。
- 財団が指示する記入上の注意や指定の書き方に沿った書き方をしたか。
- 記述する項目は記入欄の7割以上は記入したか。
- 記入することが無い欄は空欄とせず「0」(ゼロ)や「なし」と記入したか。

#### 手書きの場合

- 黒のボールペンで記入したか。※フリクション不可
- 記入した申請書類は第三者が見て判読可能な文字であるか。
- 修正液(テープ)は使用していないか。※訂正の場合は訂正印を押す又は新たな用紙に書き直すこと

申請書類に不備があった場合、学内選考において、低評価となる場合があります。提出前に必ず再度確認し、下記に記名の上、本紙を申請書類一式に添えて提出してください(データ提出可)。

学籍番号:

氏 名:

---

※ 大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

\*2025年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

## 私費外国人留学生身上調書

### 1. 身分・名前等

身分	学部 年 MC 年 DC 年	学部研究生 大学院研究生	学籍番号	
学科名 専攻名		指導 教員	研究室 TEL	
氏名	(漢字 )			既婚・未婚
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)		国籍	
東北大学 入学前の 在籍大学				年 月 卒業・修了
東北大学 での異動 (新しい順番に)	在籍身分	在籍期間		
		年 月 ~ 現在		
		年 月 ~ 年 月		
住居 (○で囲む)	ユニバーシティ・ハウス青葉山		国際交流会館三条第一会館	
	ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ)		国際交流会館三条第二会館	
	ユニバーシティ・ハウス片平		ユニバーシティ・ハウス長町	
	国際交流会館東仙台会館			
	県・市営住宅・民間アパート(住所		)	

### 2. 家族状況 (母国の家族情報を含むこと。)

\*配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する

氏名	続柄	年齢	同/別居	職業	勤務先または学校名
	父				
	母				

\*

\*2025年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

## 家計状況申告書

在籍	学部 年	学部研究生	学籍番号	
	MC 年 DC 年	大学院研究生		
氏名				

### 家計状況

\* 2024年4月から2025年3月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

\* 2024年10月入学の場合は2024年10月から2025年3月までについて記入してください。

収入		支出	
自己資金(預金)	円	授業料	円
仕送り	円	住居費	円
奨学金	円	生活費	円
その他( )	円	その他( )	円
合計	円	合計	円

特記事項(経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください)

-----

-----

-----

### 奨学金受給状況

\* これまでに奨学金をもらったことがありますか? 有り・無し (○で囲む)

\* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間	月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	

\*この2年間で申請して不採用だった奨学金名と申請した年を記入して下さい。(例: 2023年 ○奨学金)


### 授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

\* 該当箇所を○で囲む

2025	前期	申請中	申請なし			
2024	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった
2023	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった

## 別紙

### 成績評価係数 計算方法

下記の計算式により小数点第二位まで算出（小数点第三位を四捨五入）した数字を成績証明書(写)に記入して下さい。

[成績評価係数の算出方法]（小数点第三位を四捨五入）

4段階評価（パターン1）	成績評価				
	優	良	可	不可	
4段階評価（パターン2）	A	B	C	F	
4段階評価（パターン3）	100～80点	79～70点	69～60点	59点～	
5段階評価（パターン4）	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン5）	S	A	B	C	F
5段階評価（パターン6）	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

[計算式]

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

※合格の評価は加算しない。（係数値算出から除外）